

## (14) 電気業

18/17 19/18 ◎ 伸び率10%以上 ● 伸び率0~▲10%  
: 天気図マーク; ○ ◎ ○ 伸び率0~10% ● 伸び率▲10%以下

### 1. 企業経営動向

#### (1) 最近の電力需要

##### ① 平成18年度の需要動向

平成18年度の需要電力量は、8,929億kWh、最大需要電力は、1億7,022万kWとなる見込み。

##### ② 平成19年度の需要動向

平成19年度の需要電力量は、9,030億kWh、最大需要電力は、1億7,466万kWとなる見通しである。

#### (2) 今後の電力需給見通し

平成19年度電力供給計画によれば、平成28年度の需要電力量は、9,634億kWhとなり、最大需要電力は、1億8,681万kWとなる見通しである。

#### (3) 企業収益

##### ① 平成18年度の電力会社10社の決算（単独）は、経常収支ベースで、増収減益（2年連続）となる見込み。

収入面では、平成18年4月及び7月に実施した料金引下げによる料金収入の減少などの減収要因があったものの、着実な景気回復を反映して産業用需要が堅調に推移したことによる販売電力量の増加などから、売上高は、前年同期と比べて1.5%増の15兆865億円となる見込み。また、その他収益を加えた経常収益は、前年同期と比べて1.7%増の15兆2,062億円となる見込み。

費用面では、年金資産の運用好転などによる人件費の減少や既存設備の償却の進行による減価償却費の減少などがあったものの、燃料価格の上昇に伴う燃料費の増加などから、経常費用は、前年同期と比べて、2.4%増の14兆1,114億円となる見込み。

以上の結果、電力会社10社の平成18年度経常利益は、同6.4%減の1兆947億円となり、過去10年間で第3位の水準となった。

##### ② 平成19年度の電力会社10社の業績予想については、売上高は対前年度比0.9%減の14兆7,250億円、経常利益は同6.8%減の1兆900億円となっている（いずれも各社公表値を集計）。

#### (4) 財務

電力各社は経営の効率化の一環として財務体質の改善を図っているところであり、平成18年度においては、債務の償還が進んだことなどにより、有利子負債残高は対前年度比3.9%減の21兆467億円程度となっている。

## 2. 設備投資動向（グラフ1参照）

### （1）これまでの設備投資の推移

電力会社10社においては、平成5年度の5兆円弱をピークとし、平成6年度以降は年々減少していたものの、平成18年度以降は増加に転じている。

平成18年度実績見込額は、1兆5,488億円（対前年度比4.0%増）となる見込み。

### （2）平成19年度の設備投資計画

平成19年度計画額は、電力会社10社で1兆9,789億円（対前年度比27.8%増）となっており、電源工事の増加などが見込まれることから、全体的に計画額は増加している。

## 3. 長期資金調達・運用動向

### （1）長期資金運用動向

電気業は、調達した資金の殆どを設備資金に充当している。

### （2）長期資金調達動向

電気業の資金調達については、電力会社10社の場合、電力自由化の進展等を踏まえ、設備投資の効率化、有利子負債の圧縮等による財務体質の強化を図っており、設備投資額を自己資金内で抑制する傾向が続いている。自己資金は減価償却費の比率が高く、外部資金については、純減の方向である。

（グラフ1：設備投資の前年度比の推移）

